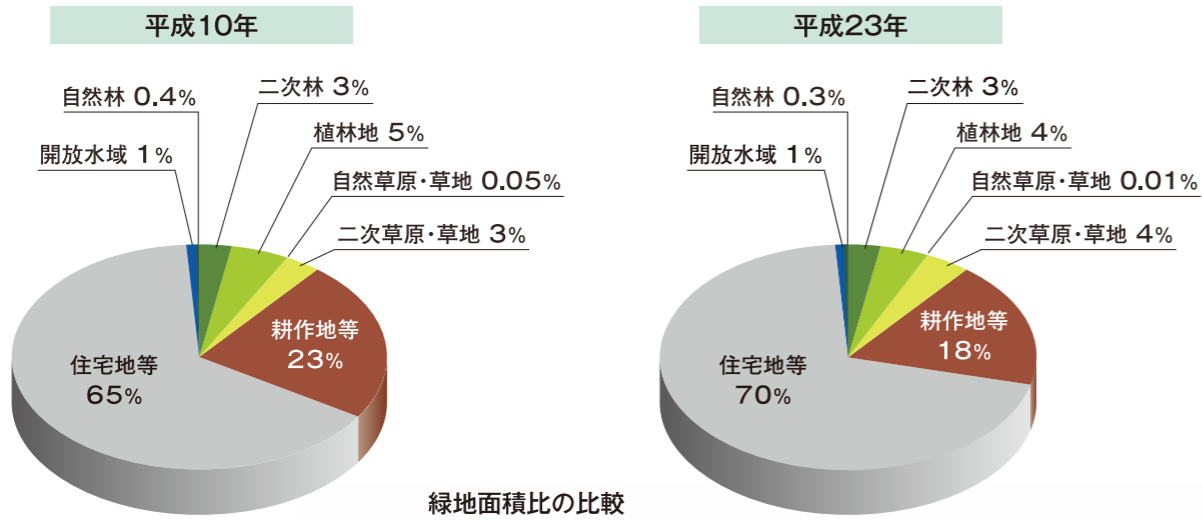


③・② 緑地面積 ～13年間の変化



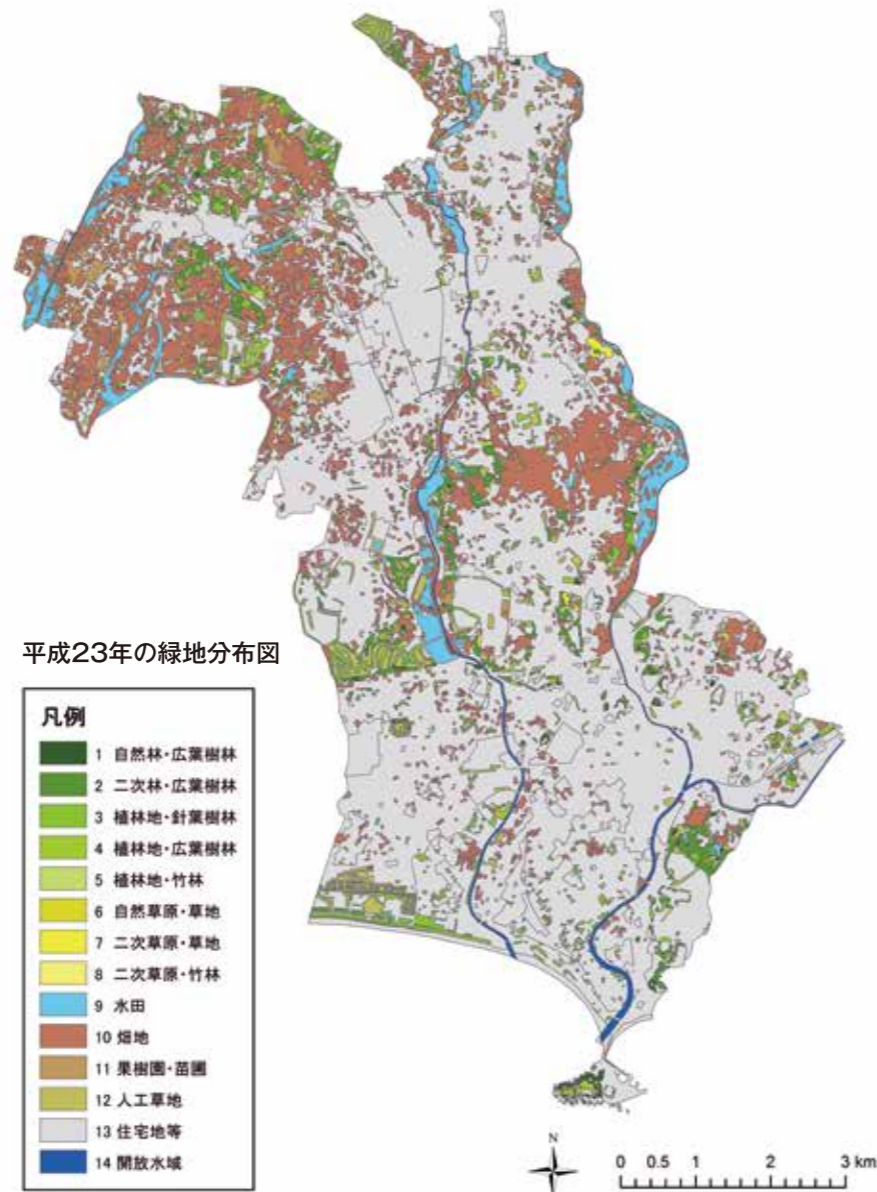
緑地面積比の比較

※1%未満のものについては、小数点以下の数値を示しました。

平成23年撮影の航空写真の解読により作成した緑地分布図を、平成10年当時と比較すると、樹林や農地等の緑地の面積が減少し、住宅地等の増加が見られました。藤沢市全域にわたって市街化が進んでいることが明らかになりました。

自然林、二次林、植林地等の樹林地は全市域で減少傾向です。特に西北部地域を中心に市の北側において自然林が減少している状況です。また、畑地も全域で減少傾向ですが、特に市の南部地域では著しく減少しました。

このような状況から、生きものの生息空間が減少し、コリドー（回廊）としての機能も低下していると考えられます。



平成23年の緑地分布図

※自然林、二次林、自然草原・草地、二次草原・草地、畑地についての用語解説は34ページにあります。

4 確認された生物種 ～現地調査の結果～

「生態学的評価」実施のために抽出した「指標種」と「重要種」の一部をご紹介します。



【写真】上段左から：シュンラン、モノサシトンボ、アサヒナカワトンボ、ツチガエル、ヤマトセンブリ、クマガイソウ、ニホンカワトンボ、トウキョウダルマガエル、ヒナカマキリ、アオゲラ、ウスタビガ、チダケサシ、オオタカ、イタチ